

(別添)

家庭教育支援の充実のための実態等把握調査

—令和2年度調査—

青森県教育庁生涯学習課

【ご回答にあたって】

本調査は、児童・生徒数をもとに無作為に抽出した県内の小・中学校において、**小学校5年生及び中学校2年生**の保護者を対象に、家庭教育について保護者の意識や支援の状況等に関するアンケート調査を実施し、今後の家庭教育支援の充実に役立てる資料とすることを目的としています。

兄弟・姉妹でご家庭に複数配付された場合は、いずれか一方にご回答ください。

大変お忙しいことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

【ご提出のお願い】

お手数ですが、配付された封筒に入れて、**令和3年1月22日(金)**までに学級担任の先生へ提出して下さるようお願いいたします。

【本調査に関するお問合せ先】

青森県教育庁生涯学習課企画振興グループ
〒030-8540 青森市長島1丁目1-1
Tel017-734-9889

本調査の内容は、青森県教育委員会のホームページ(<https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/>)に掲載しています。

本調査の結果は令和3年8月に公表予定です。

本調査は、青森県教育委員会が実施していますが、アンケートの発送・回収等の業務を株式会社サンブラッソ・エイティープイに委託しています。

あなたのことについてお知らせください。

問1 あなたの性別をお知らせください。
①男性 ②女性 問1

問2 あなたの年代をお知らせください。
①20歳代 ②30歳代 ③40歳代
④50歳代 ⑤60歳代以上 問2

問3 お住まいの市町村をお知らせください。
問3 市・町・村

問4 本調査票を持ってきたお子さんの学年をお知らせください。
①小学校5年生 ②中学校2年生 問4

問5 本調査票を持ってきたお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。
①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤おじ・おば
⑥その他 具体的に:() 問5

問6 あなたの現在の職業は、大きく分けて、次のどれに当てはまりますか。
現在結婚している方は、配偶者の職業についてもお答えください。
①会社経営者・役員
②会社員(契約社員や派遣社員を含む)、団体職員
③公務員
④自営業(農家や個人商店等)、自営業への家族従事者
⑤臨時雇用・パート・アルバイト
⑥専業主婦(夫)・働いていない
⑦その他 問6【ご自身】
問6【配偶者】

問7 あなたと生計をともにしている家族は、あなたを含めて何人ですか。
問7 人

問8 あなたと生計をともにしている家族はどなたですか。あなたから見た続柄であてはまる番号をすべて選んでください。
①配偶者 ②実父 ③実母 ④義父 ⑤義母
⑥兄弟姉妹 ⑦子ども()人 ⑧その他 問8
問8 子ども()人

問9 あなたの家族の中で、平日や休日に主に子育てに関わっている人は誰ですか。
【平日】 ①あなた ②配偶者 ③祖父母、おじ・おば ④その他
【休日】 ①あなた ②配偶者 ③祖父母、おじ・おば ④その他 問9【平日】
問9【休日】

問10 あなたは、平日や休日に子どもとふれあう時間はだいたい何時間ですか。現在結婚している方は、配偶者のふれあう時間についてもお答えください。
【平日】 ①1時間未満 ②1~2時間未満 ③2~3時間未満
④3~4時間未満 ⑤4時間以上
【休日】 ①1時間未満 ②1~2時間未満 ③2~3時間未満
④3~4時間未満 ⑤4時間以上

問11 本調査票を持ってきたお子さんは、朝食や夕食を誰と一緒に食べる人が多いですか。
【朝食】 ①家族全員と ②家族のだれか大人と ③兄弟姉妹だけで
④子どもひとりで ⑤食べない
⑥その他 具体的に:()
【夕食】 ①家族全員と ②家族のだれか大人と ③兄弟姉妹だけで
④子どもひとりで ⑤食べない
⑥その他 具体的に:()

問14 あなたは、子育てについて悩みや不安がありますか。
①悩みや不安がある
②悩みや不安はあまりない
③悩みや不安は全くない } 問17へお進みください。

※問14で「① 悩みや不安がある」と回答した方にお尋ねします。

問15 あなたは、子育てについて主にどのような悩みや不安を持っていますか。悩みや不安が大きなものから順番に3つまでお答えください。
①子どものしつけやマナーのこと ②子どもの健康や発達のこと
③子どもの勉強や進学のこと ④子どもの性格や癖のこと
⑤子どもの生活の乱れや非行のこと ⑥子どものいじめのこと
⑦子どもの友人関係のこと ⑧子どもの教育費のこと
⑨子どもの食物の安全性 ⑩子どもの兄弟姉妹の関係
⑪子どもの性のこと
⑫子どもの気持ちが分からないこと
⑬子どもとのコミュニケーションが不足していること
⑭子どもの反抗的な態度への対応が分からないこと
⑮子育てへの家族の協力が得られないこと
⑯その他 具体的に:()

子育ての状況についてお知らせください。

問12 あなたは、子育てをしていて、主にどのようなときに良かったと感じますか。(回答は2つまで)
①子どもが喜んだ顔を見るとき
②子どもと話したり、遊ぶとき
③子どもの成長を感じるとき
④家族として一体感を感じるとき
⑤学校や習い事などで子どもの生き生きとした様子を見たとき
⑥子育てを通して親の交流が広がったとき
⑦その他 具体的に:()
⑧良かったと感じたことはない

問13 あなたは、子育てをしていて、主にどのようなことに負担を感じていますか。(回答は2つまで)
①経済的な負担 ②肉体的な負担
③精神的な負担 ④親同士のつきあいの負担
⑤時間的な余裕がないこと ⑥子育てに関する情報が多すぎること
⑦子育てに関する情報が少なすぎること
⑧その他 具体的に:()
⑨負担は感じていない

※問14で「① 悩みや不安がある」と回答した方にお尋ねします。

問16 あなたは、子育てについて悩みや不安があるときに、主に誰に相談しますか。相談の頻度が多い相手の順番に3つまでお答えください。
①配偶者 ②実父 ③実母 ④義父 ⑤義母
⑥自分または配偶者の兄弟姉妹
⑦自分または配偶者の友人
⑧子育てをしている仲間
⑨近所の人
⑩学校の先生
⑪放課後子ども教室・放課後児童クラブの職員
⑫子育てサークルやNPOなどの民間団体
⑬民生委員・児童委員
⑭行政など公的機関
⑮インターネットの相談サイト
⑯子どもと話し合う
⑰その他 具体的に:()
⑱相談相手がいない
⑲誰に相談していいか分からない
⑳相談しない

家庭教育（子育て）についてお知らせください。

問17 あなたは、家庭教育（子育て）についてどのような支援があればよいと思いますか。あればよいと思う順番に2つまでお答えください。

- ①親の役割やしつけの仕方などを学ぶ講座や研修会
- ②子どもとの体験や交流を取り入れた講座や研修会
- ③子どもの家庭での学習習慣を身に付けさせる場や機会
- ④子育て中の親と親しくなれる場や機会
- ⑤地域の人と親しくなれる場や機会
- ⑥身近で気軽に相談できる場や機会
- ⑦家庭訪問し、相談や話し相手になってくれる人
- ⑧家庭教育（子育て）についての情報
- ⑨子どもが安全安心に過ごせる場所
- ⑩子どもを預かってくれる場所
- ⑪地域みんなが子育てする社会環境
- ⑫特になし

問17
【1番目】

問17
【2番目】

問18 あなたは、家庭教育（子育て）に関する講座や研修会などに参加していますか。

- ①よく参加する
- ②時々参加する
- ③あまり参加しない
- ④参加したことがない

問18へお進みください。

問20へお進みください。

※問18で「①よく参加する」「②時々参加する」と回答した方にお尋ねします。

問19 あなたは、家庭教育（子育て）に関する講座や研修会などに参加して、主にどのようなことが良かったですか。良かったと思う順番に2つまでお答えください。

- ①家庭教育の大切さを認識できたこと
- ②しつけの仕方を学ぶことができたこと
- ③子どもの気持ちを理解することができたこと
- ④子育て中の仲間と知り合うことができたこと
- ⑤同じ悩みを抱えている人がいることを知ったこと
- ⑥気分転換を図ることができたこと
- ⑦悩んでいることの解決方法を見出せたこと
- ⑧講師や専門家などが相談に応じてくれたこと
- ⑨その他 具体的に：()
- ⑩良かったと思うことはない

問19
【1番目】

問19
【2番目】

問23 あなたは、家庭教育（子育て）についての情報を誰（何）から得たいと感じていますか。情報を得たい順番にあてはまる番号を2つ選んでください。

- ①家族
- ②友人
- ③近所の人
- ④ポスター・チラシ
- ⑤テレビ・ラジオ
- ⑥新聞
- ⑦雑誌・書籍
- ⑧回覧板・広報紙
- ⑨インターネット・SNS
- ⑩学校
- ⑪講座や研修会
- ⑫子育てサークル
- ⑬子育てサポートセンター
- ⑭情報を得たいと感じていない

問23
【1番目】

問23
【2番目】

問24 子どもを育てるうえで、親の学習に特に大切だと思う内容は何ですか。必要だと思う順番にあてはまる番号を3つ選んでください。

- ①子どもの基本的な生活習慣の定着
- ②子どもの自立心の育て方
- ③子どもとのコミュニケーションのとり方
- ④親としての生き方
- ⑤夫婦に関すること
- ⑥家族に関すること
- ⑦社会的モラル
- ⑧子どもの心身の健康・発達
- ⑨ライフスタイル
- ⑩地域活動
- ⑪子どもの自然体験を充実させる方法
- ⑫子どもの耐性や適応性を育てるための方法
- ⑬性教育
- ⑭男女共同参画
- ⑮いじめ・不登校・ひきこもり
- ⑯子どもの虐待防止
- ⑰子どもの非行
- ⑱発達障害
- ⑲これからの社会を見据えた学び（SDGs、Society5.0など）
- ⑳学習の必要はない

問24
【1番目】

問24
【2番目】

問24
【3番目】

問20 あなたは、家庭教育（子育て）に関する講座や研修会などに参加しやすくするために、どのようなことが重要だと思いますか。重要だと思う順番に2つまでお答えください。

- ①時間が短ければ良い
- ②仕事先で開催されれば良い
- ③興味のある内容だと良い
- ④分かりやすい内容だと良い
- ⑤夜間や休日の開催だと良い
- ⑥無料だと良い
- ⑦身近な場所で開催されると良い
- ⑧講師に相談できれば良い
- ⑨参加者同士が意見交換できると良い
- ⑩インターネットやSNSなどで提供されると良い
- ⑪周知の仕方を工夫すると良い
- ⑫その他 具体的に：()
- ⑬要件が整っても参加しない

問20
【1番目】

問20
【2番目】

問21 家庭教育（子育て）について知りたい情報はどんなことですか。知りたい順番にあてはまる番号を2つまで選んでください。

- ①子どものしつけ
- ②子どもの体の健康・発達
- ③子どもの心の健康・発達
- ④いじめ・不登校・ひきこもり
- ⑤子どもの性
- ⑥子どもへの虐待
- ⑦子どもとのコミュニケーション
- ⑧子どものほめ方・叱り方
- ⑨子どもの携帯電話やインターネットの利用に関すること（ゲームやSNSを含む）
- ⑩講座、研修会に関すること
- ⑪相談窓口
- ⑫子どもや親の交流の場
- ⑬特になし

問21
【1番目】

問21
【2番目】

問22 あなたは、家庭教育（子育て）についての情報を誰（何）から得ていますか。情報を得ることが多い順番にあてはまる番号を2つまで選んでください。

- ①家族
- ②友人
- ③近所の人
- ④ポスター・チラシ
- ⑤テレビ・ラジオ
- ⑥新聞
- ⑦雑誌・書籍
- ⑧回覧板・広報紙
- ⑨インターネット・SNS
- ⑩学校
- ⑪講座や研修会
- ⑫子育てサークル
- ⑬子育てサポートセンター
- ⑭その他 具体的に：()

問22
【1番目】

問22
【2番目】

問25 以下の教育項目について、家庭・学校・地域のどこで身につけさせることがよいと思いますか。あてはまる欄に○を記入してください。（各項目につき1つ）

	家庭が中心で	学校が中心で	地域が中心で
A 基本的な生活習慣（例えば、洗顔、自分で起床、あいさつなど）			
B 生活体験（例えば、タオルをしぼる、小さな子の世話、ナイフの使い方など）			
C 自然体験（例えば、海や川で遊ぶ、自然観察、登山など）			
D 自主性（自分の判断で行動する態度）			
E 自制心（感情・欲望などを自分で抑えること）			
F 自立心（人に頼らず、独り立ちして自力でやっつけようとする心構え）			
G 豊かな情操（美しいものを美しいと感じる心）			
H 他人への思いやり			
I 道徳感			
J 社会的なマナー			
K 正義感			
L 人間関係づくり			
M 職業観			
N 性教育			

アンケート全般を通して、お気づきの点などをお知らせください。

問26 家庭教育支援の在り方について、ご意見がございましたら自由にお書きください。

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。
配付された封筒に入れ、令和3年1月22日までに学級担任の先生へ提出してください。